

FPまつもと通信

ちょっと得する「保険」や「年金」についての話題をお届けします。

ご挨拶

5月の連休と言えば鯉のぼりですが、鯉のぼりはいつごろから始まったのかご存知ですか？

「江戸時代、武士の家が生まれた男の子の出世を願って馬印や幟を揚げていたのを、庶民が真似をして縁起物の鯉を幟に描いて揚げるようになったと言われています。

鯉は中国の「鯉が滝を登りきると龍になる」という登龍門伝説から、立身出世の象徴とされています。」

(日本鯉のぼり協会：<http://www.koinoborinippon.jp/>)

子どもの健やかな成長を願う気持ちは今も昔も変わりませんね。



今月号の話題

資産運用ガイド

今月は株式と債券の値動きの特徴について改めて整理してみました。投資期間によって株式と債券の比率を決める理由が明確になります。

ちょっと気になるお金のコラム

世界各国のビックマックの価格で為替相場の分析をする方法があるのをご存知ですか？

最近のニュースから

神奈川県大和市は先月、「70歳代を高齢者と言わない都市」宣言をしました。

宣言には、

- 「人生100年時代」を迎える超高齢社会では、一般に65歳以上を高齢者とする固定観念を変えていくことが必要です。
- 年齢を重ねても、自らの健康を維持し、自立した生活を送れるよう努めている方、豊かな知識と経験を生かし、様々な役割を果たしている方など、一人ひとりが大和のかけがえのない存在です。
- 支えを必要とする方には手を差し伸べながら、この世代の方々が、個々の意欲や能力に応じて、いつまでも生き生きと活躍していただきたいと考え、「70歳代を高齢者と言わない」ことを宣言します。

とあります。

この宣言は、医療費や年金などの制度上の年齢区分を変えるものではありませんが、昨年1月に、日本老年学会・日本老年医学会が、高齢者の定義を75歳以上とすることを提言したこともあり、今後、年齢を基準にする社会保障制度などについても見直しの議論が活発になるかもしれません。

神奈川県大和市「70歳代を高齢者と言わない都市」宣言

<http://www.city.yamato.lg.jp/web/soukei/soukei01211391.html>



FP 松本相談センター
CFP・社会保険労務士
媚山裕之

〒390-1702

長野県松本市梓川梓856-26

0263-76-1250 090-8741-7358

info@fp-matsumoto.com

<http://fp-matsumoto.com>

2000年からFP業務を行っています。現在は確定拠出年金の導入及び加入者の方のライフプラン相談、保険相談、資産形成支援業務を中心に活動しています。年間で200人以上の方の相談をさせていただいています。

特に生命保険は、ちょっと見直すだけで保険料は勿論保障内容も大きく変わります。是非ご相談ください。

確定拠出年金加入者のための資産運用ガイド

2月以降、米国金利の急上昇、米中貿易摩擦に対する懸念、米SNS企業の情報漏洩問題などで値下がりが続いていましたが、4月に入るとこういった懸念はやや後退し、

- ・米国は雇用市場の堅調が続き、減税と政府歳出の拡大が経済成長を押し上げる
- ・各国地域で、労働生産性を向上させるために、企業の設備投資が堅調に推移する

などが注目され堅調な値動きとなりました。3月末→4月末の値動きは以下ようになりました。

日経平均株価：21454→22467 NYダウ：24103→24163 為替（ドル/円）：106.26→109.33

積立投資の推移



N社バランスファンドのデータによる（コスト控除後）

	積立合計額	株式75%	株式50%	株式25%
2018年2末	120,000	127,315	124,664	121,795
2018年3末	130,000	132,981	131,999	130,699
2018年4末	140,000	145,632	143,541	140,976

確定拠出年金に加入したものの、投資信託を選ばずに、

元本確保型の預金や年金保険のままになっている方はいませんか？

企業型の加入者は約640万人（厚生労働省・確定拠出年金の施行状況2018年3月）ですが、6割の人が元本確保型の商品のままになっているそうです（日本経済新聞2018年3月1日）。

積立期間が10年以上の方は、このニュースレターなどを参考にして投資信託を検討してはいかがでしょうか？

どれを選んだらよいかわからない、という方はお問合せください。

株式と債券の値動きを確認する

長期の資産運用では、投資期間に応じて株式と債券を組み合わせる、ことが重要とされています。

今月はその理由について再確認したいと思います。



左下図は、2002年12月末～2018年2月末までの、国内外の株式、債券の値動きを示したものです（2002年12月時点で国内で販売されたインデックス型の投資信託のリターンデータを基に作図）。

ここで言う株式、債券とは、トヨタとかドコモと言った個別企業の株式や債券ではなく、株式（債券）市場全体の値動きの特徴を指します。

債券の特徴

金利と償還（満期）日が決まっているので、リターンが概ね予想できます。そのため値動きはあまり大きくありません。

ただし、外国債券の場合には、為替の変動の影響を受けるため国内債券に比べて値動きが大きくなります。

（次ページへ続く）

確定拠出年金加入者のための資産運用ガイド

株式の特徴

株式はいつ、いくらのリターン（配当や値上がり）があるかわかりません。

また、株式を発行している企業から見ると、いつまでにいくら返す、という約束がないのでとても自由度が高いお金だと言えます。

従って、長い目で見ると債券よりも大きなリターンを期待することができますが、その分、日々の値動きは大きくなります。

商品の性格を理解して自分の年齢に合う配分を

このような特徴を理解すると、投資期間に応じて株式と債券の比率を決める、ということが理解できると思います。

たとえば、積立（運用）期間が30年ある人は、途中で多少の値動き（値下がり）があっても、60歳とか65歳になって受取るときに大きく殖えていればよいでしょう。

また、しっかりと運用をしていないと十分な老後の資金準備にならない場合もありますから、株式の割合を多くします。

一方、50代で受取時期が近い人の場合は、今がよさそうだからといった理由で株式の比率を多くして、受取直前にリーマンショックのような大幅な下落があると困るので株式の割合を少なくします。

確定拠出年金のような長期の資産運用では、マーケットのニュースや動向ではなく、投資期間と資産配分に注意することが大切と言われるのはこのような理由からです。

もし、確定拠出年金に加入はしたが、

- ✓ 商品をきちんと選んでいない
- ✓ 初期設定の元本確保型の商品のまま

という方はこのような考え方で商品の指定を検討してはいかがでしょうか？

ちょっと気になるお金のコラム

為替レートはどう決まるの？

海外旅行は勿論、ガソリンなどの輸入品の価格に為替相場は深く関係しています。

また、外貨預金や投資信託など、為替の動きが損益と関係がある金融商品を購入している方もいるかもしれません。

毎日のように、「今日は円高」「今日は円安」などと為替の動きがニュースになっています。

- ・アメリカ金利が上がるから円安ドル高
- ・日本の財政赤字が大きいから円安
- ・リスク回避で円高

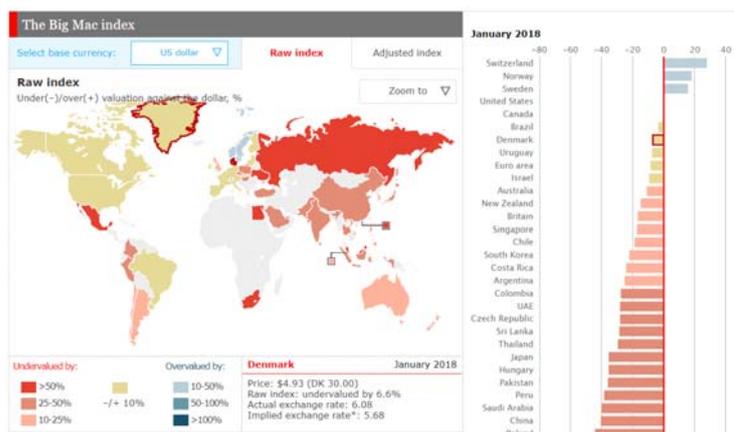
このような説明をニュースなどで聞いたことがあるかもしれません。

そんな中、ちょっと面白い為替の見方を紹介しません。必ず、この見方が当たる、というわけではありませのでご了承の上お読みください。

ビックマック指数とは

ビックマックのように世界中でほぼ同じ価値のものは円で買っても、ドルで買っても、ユーロで買っても同じ金額のはずだ、という考えに基づき、(専門的には購買力平価といいます)、1986年から英国エコノミスト誌が世界のビックマックの価格と各国の為替レートを公表しています。

<https://www.economist.com/content/big-mac-index>



これによると、

日本のビックマック=380円
1ドル=110円とすると、3.45ドル (380÷110) と言うことになります。

アメリカのビックマック=5.28ドル。円に換算すると約580円 (5.28ドル×110円)。高い、と感じませんか？

仮に1ドル=72円 (今と比べると3割強の円高) で計算すると、

5.28ドル×72円=約380円、とつり合いが取れます。

ビックマック指数に基づくと、今より3割以上の円高が適正な為替レート、と言うことになります。

しかしながら実際は、各国のビックマックの価格はまちまちです (左下ビックマック指数ページ参照)。

ビックマック指数が間違っているのか、為替レートがビックマック指数に向かっていくのは残念ながら将来にならないとわかりませんが、こんな見方もあるのですね。



ビックマックが世界一高いのは？

スイスです。スイスのビックマックは、6.5スイスフラン。1スイスフラン=111円なので、720円ほどになります。

反対に一番安いのはウクライナで、日本円で約180円。スイスとの差は約4倍です。こんなに値段に差があるのにも関わらず、味もサービスもほぼ同じ、というのも面白いですね。

お金のこと、年金のこと、保険のこと、 すっきりしたい方、安心したい方は無料FP相談をご利用ください

- ✓ 保険料を払いすぎていないか確認したい
- ✓ 自分が加入している保険がどのような時にでるのか確認したい
- ✓ 年金がいくらぐらいもらえるのか知りたい
- ✓ 年金が不安だがどのように準備したらよいか知りたい
- ✓ 火災保険や自動車保険のお得な入り方を知りたい
- ✓ 確定拠出年金の商品選びについて教えて欲しい
- ✓ その他



このようなことで少しでも気になることがある場合はご相談ください。ニュースレター会員の方向けに無料でFP相談を行っています。

ご相談事例

- 昔に入った生命保険を見直して毎月の保険料が大幅にダウン。
- 年金定期便の見方がわかり、具体的に老後資金準備のイメージがつかめた。
- 最近の医療制度や医療技術に合わせた保険に変更でき安心した。

FP無料相談 お申込

ご確認したい項目に☑、必要事項をご記入の上、ファックスでお申込ください。折り返しご連絡を差し上げます。

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 生命保険のお得な入り方 | <input type="checkbox"/> 年金定期便の見方 |
| <input type="checkbox"/> 加入生命保険の内容を確認したい | <input type="checkbox"/> 老後資金の準備について |
| <input type="checkbox"/> がん保険・先進医療保険について | <input type="checkbox"/> 教育資金の準備について |
| <input type="checkbox"/> 損害保険のお得な入り方 | <input type="checkbox"/> 年金商品の選び方 |
| <input type="checkbox"/> その他 | <input type="checkbox"/> 確定拠出年金の商品選びについて |

お名前

電話番号

メール

 (ブロック体でご記入ください)

勤務先

お役職

お問い合わせフォームはこちら⇒
<http://fp-matsumoto.com/contact/>



FAX:050-3730-0380

個人情報の利用目的：当該サービスを提供。当社サービスのご案内